

ひめじ NPO・ボランティア通信

今年もお世話になりました

1年前の12月と、これほど世界が変わってしまうとは、誰が予想したでしょう。新型コロナウイルスは、まだまだ予断を許さない影響を与え続けています。ボランティアの皆さんの活躍の場も、ほとんどが休止状態にならざるを得ませんでした。そんな中で私たちは、注意深く状況を見ながら何ができるか、してはいけないのは何かを考えていく必要があるのではないのでしょうか。皆さんと、来年も共に活動できることを願っています。今年1年お世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。



センター訪問記
おじゃま
します
No103

職人・商人文化など地域に根ざす歴史的資産を活かした賑わいづくり 特定非営利活動法人歴史と出会えるまちづくり船場城西の会



船場本徳寺で「楽市」に集合



船場小学校6年生のまち歩き体験



1月1回の定例会にて



新聞にも掲載のまち歩きの様子

年間平均5回開催の楽市

船場城西地区で、まちに残る建物や職人・商人文化などの歴史的資産の保全と、その活用によるまちづくりを行っているのが「特定非営利活動法人歴史と出会えるまちづくり船場城西の会」です。

「空洞化や高齢化が進み、活気を失いつつあった地域社会の活性化・再創造を目的に発足しました。船場御坊楽市の開催、まち歩きのイベント、町名由来板の設置、まちづくりコンサートなど、にぎわいの創出や伝承に力を入れています」と代表の柴田武志さん。

船場本徳寺での楽市は地元を声かけ、出店者などを募って一緒に盛り上げることを大切に。また、毎年3月と

10月に開催するまち歩きは、毎回60~70人が参加する人気イベントとして注目されています。

「地域の小中学校を対象にしたまち歩きも行っています。味噌・仏壇・綿などの特産品や伝統工芸について、郷土史として子どもたちに勉強してもらい、次の世代へ伝えていく試みです。また、スマホでまち歩きの道案内をするマップなどのツールを制作したり、新しいコースの企画などもいつも定例会で考えています」（柴田さん）

同団体の詳しい活動などはホームページをご覧ください。メンバーも募集中です。

<http://www.himesen.com>